

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		真壁運動場管理運営事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020402000088	
総合計画の施策名		0204	生涯スポーツ活動の振興			単独/補助	単独	所属課	090501	
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり					課長名		
	施策名	04	生涯スポーツ活動の振興					グループ	スポーツ振興G	
	手段名	02	②快適な施設利用の推進					担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	06	02	06	00	運動場管理事業 (真)			
法令根拠	桜川市体育施設設置及び管理に関する条例						単年度繰返し (昭和51 年度～)			
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						↳ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市民の心身の健全な育成、健康の維持増進及びスポーツ振興を図るための体育施設として管理運営する事業である。真壁運動場はソフトボール・軟式野球・グランドゴルフ・サッカー等様々なスポーツで利用されており、幅広い年齢層の方に利用されている。令和3年8月、夜間照明設備をLEDに切り替えた。	施設維持管理、委託契約、利用調整、使用許可申請書の受付、使用許可書の交付施設の維持管理

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
施設維持管理、委託契約、利用調整、使用許可申請書の受付、使用許可書の交付施設の維持管理、運動場の貸出、利用団体の調整	運動場の貸出日数	日	308.00	308.00	308.00	308.00	308.00
	保守点検回数	回	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
桜川市民	人口(常住人口)	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
市民のスポーツ活動の促進・体づくり・健康づくりのため利用してもらう。	利用者延べ人数	人	12,990.00	10,564.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	263	313	289	
		その他	千円	72	72	72	
		一般財源	千円	4,608	5,305	11,218	
	事業費計 (A)	千円	4,943	5,690	11,579		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	07 報償費	188		07 報償費	256	
	10 需用費	2,719		10 需用費	3,063	
	11 役務費	34		11 役務費	44	
	12 委託料	591		12 委託料	2,142	
	13 使用料及び賃借料	1,677		13 使用料及び賃借料	1,679	
	17 備品購入費	481		14 工事請負費	3,942	
				17 備品購入費	453	
	合計	5,690		合計	11,579	

(4) 当該年度の実施内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	○施設の維持管理業務 ○施設の使用申請書の受付及び許可書の発行 ○利用団体間の調整	○施設の維持管理業務 ○施設の使用申請書の受付及び許可書の発行 ○利用団体間の調整	○施設の維持管理業務 ○施設の使用申請書の受付及び許可書の発行 ○利用団体間の調整

事務事業名	真壁運動場管理運営事業	事務事業No.	20402000088	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 真壁運動場の建設に伴い、昭和51年12月から施設の利用が開始された。 令和3年8月、夜間照明設備をLEDに切り替えた。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 利用者から備品の充実、D・E面の霜柱対策並びに、軟式野球やソフトボール競技などで、ボールが公衆用道路や民地に飛び出さないように防球ネットの設置要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 運動場の維持管理、貸出で市民が運動場を利用してスポーツを楽しむことによって、結果の「市民がスポーツを安心して行える環境の確保」「スポーツを楽しむ機会の増加」に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内にある施設を利用できることは利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくり、健康の増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 老朽化により修繕箇所が増えているので、優先順位をつけた修繕計画をたて修繕し、利用者の利便性向上を図る必要がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 施設の経年劣化による修繕費や保守点検委託料などの維持管理費に関して削減は困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の原則に基づき、使用料を徴収しているので、公平性が確保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	・老朽化により修繕箇所が増えているので、優先順位をつけた修繕計画をたて、修繕していく必要がある。また、利用者の要望に答えやすいようにし、利用者数の増加を図る必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 老朽化による突発的な破損を回避するために、施設の維持管理業者と連携し、修繕計画を立て修繕し、安定的な施設運営を図る		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>